

トの時、母から「姉をゲストに迎えてコンサートをやってみたら」と提案され、姉も私も「ひばり児童合唱団」に所属していたこともあり2人で15分ほど童謡と唱歌を歌いました。その時の反響はとて大きく、アンケートを見てひらめいた母が「私のために1枚アルバムを作ってほしい」と当時のレコード会社の社長



昨年11月に行田中学校で開催された「手づくり学校コンサート」の様子

に直談判し、その後、2年半くらいしか、なんとか完成させ、そのレコードを売るためのコンサートを始めたのが最初です。それから31年になりますが、最近では外国の曲の影響もあって、どんどん音楽のテイストや作られ方も変わってきました。リズム主体でアクセントが逆になったりしていて、きれいな日本語を表現できる歌が少なくなっています。そこで、私たちには日本の音楽のルーツである童謡や唱歌を伝え続ける使命があると考えてようになりました。

工藤市長 私は子供のころ、親が買ってくれた童謡のレコードをよく聞いていました。童謡は、私にとって音楽の原点だと思います。

由紀さん 童謡にはマナーや親を思う気持ち、季節を愛することなどが溢れています。子どもたちのためにこんなにたくさんの方が作られている事はあまり知られていませんが、子供のための歌がこれだけあるのは日本だけです。そこには豊かな言葉づかいと表現があり、これらをもっと活用してほしいと考えています。

工藤市長 「手づくり学校コンサート」の他にも、いろいろなボランティア活動をされていると伺っていますが。

由紀さん NPO法人を立ち上げていたとき、その活動として幼稚園に歌いに

由紀さおり



Profile プロフィール

行く活動もしています。長野県伊那市や福井、名古屋、広島などにも伺っています。子育て中のお母さんは時間に余裕が持たなくて本当に大変だと思います。歌を聴いて心の余裕や豊かさを少しでも持ってもらいたいなと思っています。

ヒット曲

「夜明けのスカット」、海外での再評価

工藤市長 私の青春の歌でもある「夜明けのスカット」ですが、1969年の発表直後に大ヒットしただけでなく、

工藤市長 実は昨年足袋を教育にも取り入れています。足袋の歴史や作製を小学校3年生で学ぶ他、大学と連携してある小学校（東小学校）の全校児童が1年間足袋を履いて生活して健康や運動能力の面で良い効果があるか試しています。伝統を大切にすることはもちろん、新しい価値を創造することも必要だと考えています。

由紀さん その事業としてもいいですね。私自身、靴の生活に慣れて足裏の感覚が鈍ってしまったと感じる事がありました。そこで知人から頂いたフラジオ風の履物を自宅の庭やベランダなどで履くようにしたところ感覚が戻りました。この感覚は大切にしたいと感じました。

工藤市長 今日は由紀さんの歌に関する活動や美しい日本語への想いを伺えてとてもうれしく思いました。これからも、ぜひ、教育面などいろいろな形で行田市と関わっていただければ幸いです。最後に市民の皆さんにメッセージをいただきたいと思っています。

由紀さん 私は「人生の宝は出逢い」だと考えていて、今回、工藤市長とお話する機会をいただいたことを大切にしたいと思います。例えば、私たちの世代が持ってきた言葉のアクセント、先人の残してくれた歌、そして濁音と鼻濁音の区別などについてお話しさせていただける機会があってもいいのではないのでしょうか。

か。行田市の皆さんには行田にしかないものを大切に、培ってきたものを子供たちに教え、育んでいっていただきたいと思っています。

工藤市長 今日は、由紀さんからたくさんヒントをいただきました。これから行田市を支える子供たちのために、今出来ることを一生懸命取り組み「元氣な行田」を目指そうと思えました。本当に、ありがとうございました。

ルティニーとのコラボが実現したわけです。時代とともに音楽の表現の仕方だけでなく、人とコミュニケーションする手段など、ありとあらゆるものが大きく変化していると実感した出来事でした。

注目を浴びる足袋、元氣な行田の実現に向けて

工藤市長 昨年の4月に「和装文化の足元を支え続ける足袋のまち行田」が埼玉県内初となる日本遺産に認定されました。また、池井戸潤さんの小説『陸王』がTBSテレビ日曜劇場でドラマ化されるなど、行田の足袋が注目を集めています。行田のまち、そして行田足袋について



どのような感じられましたか。

由紀さん 明治座で座長として公演をやらせていただいたのですが、2〜3週間のお稽古着姿がとても素敵なのに気づきました。私も料理屋の女将役だったので稽古のときはずっと着物を着ていたのですが、みんな着物だけじゃなくて足袋もすごく工夫していました。着物に合わせた色や柄の足袋を履いていて「いいなあ」と思っていたとき行田でいただいた足袋のことを思い出して、お稽古のときに使わせていただきました。若い出演者の方から「その足袋どこで買ったのですか？」って聞かれるほど評判でしたよ。足袋はプレゼントとしても喜ばれると思います。

由紀さんのサイン入りCDを3名様にプレゼント!

市内在住・在勤・在学の方を対象に、由紀さおりさん直筆のサイン入りCD「歌うたいのパラド〜由紀さおり シンガー & ソングライターを歌う〜」を3人の方にプレゼントします。



【応募方法】

住所、氏名、電話番号、市外在住の方は勤務先または学校名を明記の上、1月31日(水)までにはがきまたはEメールでご応募ください。※1人につき1通のみ
【はがき】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市広報広聴課「新春対談プレゼント」係
【Eメール】kohopresent@city.gyoda.lg.jp
なお、発表は発送をもってかえさせていただきます。